

令和6年1月11日

富山県内リハビリテーション従事者 殿

富山県災害リハビリテーション支援協会（富山 JRAT）

会長 吉野 修

令和6年能登半島地震における JRAT 活動への派遣について（お願い）

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、令和6年能登半島地震にて、北陸、特に石川県にて大きな被害が出ております。日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）でも1月4日に東京の中央対策本部（日本リハビリテーション病院・施設協会）が開設され、石川 JRAT による現地の対策本部が金沢医科大学リハビリテーションセンターに立ち上がり、支援活動が進められています。

富山 JRAT としては、1月6日に高岡市、1月8日に氷見市の避難所をいくつか訪問してきましたが、大体的な JRAT 支援活動は不要と考えております。ただ、ご高齢で、元々利用されていた通所リハビリが休止しているといった災害関連病が危惧される方もおられましたので、今後も注視する必要があると思っています。

この度、石川 JRAT より正式な現地派遣の要請があり、JRAT 本部から、富山 JRAT に対しても現地（石川県）の災害リハビリテーション支援チーム派遣協力の依頼が届きました（別紙①をご参照ください）。

つきましては、現地派遣のご協力を頂きたく存じます。応募方法は別紙①に記載されておりますので、ご確認の上、ご応募を何卒よろしくお願い申し上げます。

（申込に際しての現時点での注意点を次ページに記載させていただきますので、応募前にご確認ください）

謹白

問い合わせ先：

富山 JRAT 事務局

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

リハビリテーション科 吉野 修

Mail：[yoshino@toyama-reha.or.jp](mailto:yoshino@toyama-reha.or.jp)

(申込時の注意点について (2024年1月11日時点))

・本支援活動は、石川県と石川 JRAT の協定に基づいており、派遣チームは石川 JRAT の一員としての活動になります。費用弁済や補償に関しては、石川県と石川 JRAT の協定に基づき、石川県よりされることになるとのことです。費用弁済は後日になりますが、様々な領収書を残しておく必要があります。

・活動日時は、2024年1月13日以降で、現地にて早朝から夕まで3日以上継続での活動(実質4日以上)となっています。5日間を上限予定との記載もあります。

・応募は、グーグルフォームでの申し込みですが、派遣チームごとに入力と記載されています。申し込みは、原則2名以上からとなっています。現地の対策本部にて応募状況を見ながら、実際に活動するチームの編成をされることになっています。普通自動車に3名乗車での活動を予定しているとのことです(例えばですが、6名(自動車2台)のチーム編成)。

・石川 JRAT からは、医師を含む応募をなるべくお願いしたいとのことでしたが、医師を含まない2人以上での申し込みも可能です。

・活動場所は、二次避難所となっている金沢市内の避難所支援、七尾や穴水周辺、さらに輪島市、珠洲市、能登町と多岐にわたっていますが、少なくとも現時点では、活動場所の希望は出せないです。すなわち活動場所によっては、金沢駅周辺のホテルに宿泊も可能ですが、いずれかの病院や施設等での寝袋生活の覚悟・準備も必要です。

・支援チームに応募する際には、事前に富山 JRAT にご連絡をお願いします(連絡先;吉野修 Mail: [yoshino@toyama-reha.or.jp](mailto:yoshino@toyama-reha.or.jp))。また、富山 JRAT 事務局より、活動メンバーとその活動日程に関して、富山県行政、富山県医師会にも報告する予定となっていますので、正式に派遣が決定された場合、改めて富山 JRAT 吉野までご連絡をお願いします。

・J R A T 栗原代表名での各所属機関への派遣依頼の公文書も出ています(別紙②)ので、ご確認ください。

(以上の注意点は、2024年1月11日現在のものです。これまでも、毎日のように情報の追加や修正があり、今後も様々な変更が予想されますので、ご了承ください。)